

ISSN 1881 - 980X

日本科学教育学会
Japan Society for Science Education
発行：中山 迅
事務局：宮崎大学大学院教育学研究科 内
URL：<http://www.jsse.jp>

2012.12.15

NO.210

科学教育研究レター



目 次

■ 理事会だより	……………2	■ 研究会・支部だより	…………… 8
第 253 回理事会報告		平成 24 年度研究会開催報告	
第 254 回理事会報告（案）		中国支部企画シンポジウムの開催	
■ 学会賞	……………6	■ 国際交流委員会だより	…………… 9
第 36 回年会発表賞の決定		国際学会開催情報	
■ 年会	……………7	■ 編集委員会だより	……………10
第 37 回年会開催案内（第 2 次）		平成 24 年度第 1 回編集理事会報告	
		平成 24 年度第 2 回編集理事会報告	
		■ 広報委員会からのお知らせ	……………12

日本科学教育学会第 253 回理事会報告

(要点のみ参考掲載)

日 時 2012 年 9 月 29 日 (土) 14:00~17:00

会 場 コクヨ 品川オフィス会議室

出席者 会長 中山

余田 小川 飯島 猿田 益子 銀島 寺田 稲垣

今村 縣 清水 日野 久保田 谷塚

事務局長 土田

幹事 青山

1. 議事要録(案)の承認

○第 251 回理事会議事録(案)の承認について、原案通り承認された。

○第 252 回理事会議事録(案)の承認について、原案通り承認された。

2. 第 253 回理事会までの電子会議による審議事項と審議結果

○事務局からの発議により、8 月 31 日までに入会を希望した 6 名を電子会議により審査した結果、全員の入会が承認された(9 月 10 日)。

3. 報告事項

1) 庶務・事務局

○文書受理(刊行物送付・メール受理も含む)について報告があった。

2) 経理・会員

・役員会等会議旅費の算出方法について

○資料に基づき報告があり、一部文面を修正することで合意を得た。

3) 機関誌編集

・機関誌編集状況について

○機関誌編集について、資料に基づき報告があった。

○2012 年度特集(第 37 巻第 2 号、「科学教師教育」)の編集状況について報告があり、特集の論文投稿締切を 10 月末に変更したことが報告された。

○2013 年度の特集テーマを「学習科学」とすること、及びその準備状況について報告された。

4) 学会賞

○年会発表賞審査の進捗状況について報告された。

5) 支部・研究会

○第 1 回及び第 2 回研究会の開催について、報告があった。

○支部規程及び研究会規程の改訂について、資料に基づき、検討・改訂が必要な点について確認があ

り、継続して検討することが承認された。

6) 調査研究・学術交流

○教科理科関連学会協議会との連携について報告があり、2013年5月18日に同協議会主催にてシンポジウムが開催されることが報告された。

7) 国際交流

○国際交流委員会副委員長ポストの補充については、千葉和義会員を充てることで承認を得た。

8) 年会企画

○第36回年会の実施結果について、報告があった。

○第37回年会の準備状況について、報告があった。

9) 広報・学会IT化

○『科学教育研究レター』発行予定(2012年度)について、資料に基づき、報告があった。

10) 組織改革

○日本科学教育学会の法人化検討(第1回)

資料に基づき、検討が必要な点が確認され、次回には日程表を提案する報告で進める意向であることが報告された。

4. 協議事項

1) 退会希望者等について

○退会希望者4名のうち、鈴木真理子会員を除く3名について退会を承認した。鈴木真理子会員については現在査読中の論文の結果が出るまで退会承認を保留することが了承された。

*現在会員数1380名(正会員1243名、学生会員120名、名誉会員12名、公共会員2名、賛助会員3名)(2012年9月25日付)

2) 評議員の委嘱

○資料に基づき会長から提案があり、原案通り承認された。

3) 研究会幹事について

○幹事(支部・研究会担当)として畑中敏伸会員(東邦大学)に委嘱するということが提案され、了承された。

4) 第38回年会開催校について

○資料に基づき報告があり、埼玉大学に決定した。開催校所属の清水誠会員と小倉康会員に年会企画委員を委嘱することが提案され了承された。

5) 改訂や整備・充実が必要な規程・申し合わせの確認

○資料に基づき報告があり、改訂や整備・充実が必要な項目について確認がなされた。

6) 鈴木真理子理事の逝去に伴う理事の欠員について

○理事の欠員ポストの補充は2013年度以降の残任期間について、役員選挙で次点であった千葉和義会員を充てることが提案され了承された。

○国際交流委員会副委員長ポストの補充については、千葉和義会員を充てることが提案され了承された。

7) その他

○会長からシニア会員(仮称)の設置について検討するよう提案があり、経理・会員担当理事を中心に検討することになった。

- 会長から、名誉会員として推薦可能な会員について検討することについて提案があり、経理・会員担当理事を中心に検討することになった。
- 独立行政法人 大学評価・学位授与機構:機関別認証評価委員会専門委員候補者の推薦については、推薦者選定に係る手順を庶務が確認し、適任者について会長を中心に検討し推薦することになった。

5. 次回以降の理事会予定

- ・第 254 回：2012 年 11 月 3 日（土）14:00～17:00 場所：コクヨ品川オフィス
- ・第 255 回：2013 年 3 月 16 日（土）14:00～17:00 場所：コクヨ品川オフィス
- ・第 256 回（臨時）：2013 年 5 月 18 日（土）14:00～17:00 場所：コクヨ品川オフィス
- ・第 257 回：2013 年 6 月 15 日（土）14:00～17:00 場所：コクヨ品川オフィス

日本科学教育学会第 254 回理事会報告（案）

（議事要録承認前。要点のみ参考掲載）

日 時 2012 年 11 月 3 日（土）14:00～17:00

会 場 コクヨ 品川オフィス会議室

出席者 会長 中山

片平 余田 小川 飯島 猿田 益子 銀島 寺田

清水 高藤 日野 久保田 谷塚

幹事 青山

オブザーバー 千葉（国際交流委員長代理） 吉川（編集委員長）

1. 議事要録（案）の承認

○第 253 回理事会議事録（案）の承認について、原案通り承認された。

2. 第 253 回理事会までの電子会議による審議事項と審議結果

○事務局からの発議により、9 月 30 日までに入会を希望した 4 名を電子会議により審査した結果、全員の入会が承認された（10 月 10 日）。

3. 報告事項

1) 庶務・事務局

○文書受理（刊行物送付・メール受理も含む）について報告があった。

○第 36 回定時総会の議事録署名を完了した（10 月 5 日）。

○日本学術会議の「東日本大震災にかかわる協力学術研究団体の活動の調査」に回答した（10 月 25 日）。

○日本品質管理学会「第 3 回科学技術教育フォーラム」の後援名義使用申請に対応した（10 月 29 日）。

○神戸大学人間発達環境学研究科より、本学会誌掲載論文(5 点)について、神戸大学学術成果リポジトリ「Kernel」での公開依頼があり、対応した（10 月 29 日）。

2) 経理・会員

○会費支払方法について、クレジットカードでの支払い等についての検討状況の報告があった。

○シニア会員（仮称）の設置に関する検討状況について報告があった。

3) 機関誌編集

○機関誌編集について、資料に基づき報告があった。

○東邦大学・畑中敏伸氏を部会員として承認したことが報告された。

○2013年度特集号（第38巻第2号）編集のための部会員を編成中と報告があった。

○2012年12月発刊予定の第36巻第4号に掲載する査読協力者一覧を2011年11月1日～2012年9月30日の期間に該当する査読者を掲載することが報告された。

4) 学会賞

○年会発表賞の選考について審議を行ったことが報告された。

5) 支部・研究会

○支部規程及び研究会規程について検討が行われていると報告があった。

6) 調査研究・学术交流

○第116回教科「理科」関連学会協議会（CSERS）について、資料に基づき報告があった。

○日本学術会議、東日本大震災にかかわる協力学術研究団体の活動の調査への協力依頼があり、学会として回答したことが報告された。

7) 国際交流

○なし

8) 年会企画

○資料に基づき報告があった。

9) 広報・学会IT化

○学会HPの整備が進んでいると報告があった。

○HPへの情報掲載のため、評議員の委嘱状況について庶務担当理事で取りまとめることが確認された。

10) 組織改革

○引き続き検討中であることが報告された。

4. 協議事項

1) 退会希望者等について

○退会希望者16名の退会を承認した。

*現在会員数1,369名（正会員1,243名、学生会員116名、名誉会員12名、公共会員2名、賛助会員3名）（2012年10月29日付）

2) 年会発表賞について

○資料に基づき、学会賞選考委員会における年会発表賞の選考結果について報告があり、提案通り、下記の2件の発表の発表者にこれを授与することが決定された。

川上 貴「小学校5年生の分布の見方に関する一考察-仮説-検証のプロセスに焦点をあてて-」
大滝孝治「メレのミスコンセプションのモデル化」

3) 学会HP「入会案内」（会員特典）の内容の修正について

（支部・研究会活動に関連して）

○資料に基づき、修正案について検討し承認された。

○CiNii 利用に関する会員特典の広報の仕方について、庶務担当理事で検討することが確認された。

4) その他

○法人化部会を設置し、部会長を余田理事とすることで承認された。

5. 次回以降の理事会予定

- ・第 255 回：2013 年 3 月 16 日（土）14:00～17:00 場所：コクヨ品川オフィス
- ・第 256 回（臨時）：2013 年 5 月 18 日（土）14:00～17:00 場所：コクヨ品川オフィス
- ・第 257 回：2013 年 6 月 15 日（土）14:00～17:00 場所：コクヨ品川オフィス

学会賞

第 36 回年会発表賞の決定

第 254 回理事会の議を経て、第 36 回年会の発表の中から、下記の 2 件に対して日本科学教育学会・年会発表賞を授与することが決められた。

川上 貴（聖徳学園小学校）

「小学校 5 年生の分布の見方に関する一考察-仮説-検証のプロセスに焦点をあてて-」

受賞理由

実験授業を設計・実践し、授業記録や児童のワークシート記述の分析を通して、小学 5 年生でも分布の概念を理解でき、ドットプロットを使って実験結果を整理して仮説-検証の活動が行えることを明らかにした研究である。実験授業のためにオリジナルの教材を開発し、統計指導カリキュラムの改善に向けた示唆（スパイラルカリキュラムの可能性）を得るなど、今後の進展が期待できるたいへん優れた研究と言える。

大滝 孝治（広島大学大学院教育学研究科）

「メレのミスコンセプションのモデル化」

受賞理由

発表者がかねてより提案しているコンセプションを静態の 4 面体モデルとして表す方法を用いてメレのミスコンセプションを分析し、4 面体を構成する 4 要素を同定した。本モデルがミスコンセプションの分析に利用できることを具体的に示しており、この領域の研究に新たな分析手法を提供したという点で評価できる。

第 37 回年会 開催案内（第 2 次）

1. 日程： 2013 年 9 月 6 日（金）～8 日（日）（3 日間）
2. 会場： 三重大学共通教育校舎
（〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577）
<http://www.mie-u.ac.jp/campusmap/index.html>
3. 主催：日本科学教育学会（後援：未定）
4. 年会実行委員会：
[実行委員長] 下村 勉
[事務局長] 荻原 彰
[年会論文集担当] 須曾野仁志
[委員] 平賀伸夫、魚住明生、田中伸明
5. 連絡先：〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577
三重大学教育学部・理科教育講座・荻原彰研究室
TEL 059-231-9325
ogifat@mark/edu.mie-u.ac.jp
6. 内容 次の内容を予定している。
 - (1) シンポジウム
未定
 - (2) 課題研究
前回の第 36 回年会と同様に、学会企画と自主企画を統合し、学会員から多様な研究テーマに関する企画を募集する。
 - (3) 一般研究発表
例年通り、1 件の発表の持ち時間は 20 分（発表 15 分、質疑 5 分）である。
 - (4) インタラクティブセッション
例年通り、ポスター発表もしくは実演紹介の形態で、研究内容についてインタラクティブにじっくりと語り合う場である。
 - (5) その他の企画：総会、懇親会、若手の会、各種会合など
7. 年会論文集の電子化
前回の第 36 回年会と同様に、年会論文集を電子化する。
・年会当日は、学会会場の見取り図、プログラムなどが掲載された「年会論文要旨集」を紙媒体で配布する。ただし、年会論文要旨集には、個々の研究の論文は掲載されない。

・従来の体裁・様式を踏襲した「年会論文集」については、紙媒体での印刷・配布は行わず、電子ファイルでご提供する。年会当日は、年会論文集の電子ファイルを格納したUSBメモリなどの媒体を参加者の方にお配りする。

8. 年会企画委員会

委員長： 谷塚光典（信州大学）

副委員長： 佐伯昭彦（鳴門教育大学）

松浦拓也（広島大学）

幹事： 瀬戸崎典夫（早稲田大学）

委員（五十音順）：阿部好貴（新潟大学）、加藤久恵（兵庫教育大学）、加納 圭（滋賀大学）、鈴木哲也（東京未来大学）、大黒孝文（同志社女子大学）、東原貴志（上越教育大学）、増田有紀（東京成徳大学）、松寄昭雄（埼玉大学）、松元新一郎（静岡大学）、御園真史（島根大学）、向 平和（愛媛大学）、谷田親彦（広島大学）、山本智一（宮崎大学）、渡辺雄貴（首都大学東京）

担当理事： 高藤清美（筑波学院大学）、日野圭子（宇都宮大学）

研究会・支部だより

平成 24 年度研究会開催報告

平成24年12月に下記の通り、第1回、第2回研究会が開催された。各研究会のプログラム及び研究報告（科教研報）については、学会ホームページに順次掲載しており、ご覧頂きたい。

(1) 平成 24 年度第 1 回研究会(九州沖縄支部開催)

[テーマ] 未来を拓く科学教育の研究と実践

[日 時] 平成 24 年 12 月 1 日（土） 9:30~16:40

[会 場] 宮崎大学教育文化学部

(2) 平成 24 年度第 2 回研究会（北海道支部開催）

[テーマ] 新しい教育課程における科学教育の充実した実践を求めて

[日 時] 平成 24 年 12 月 8 日（土） 9:40~16:40

[会 場] 北海道教育大学 札幌駅前サテライト

中国支部企画シンポジウムの開催

中国支部企画のシンポジウムが下記の通り開催された。

[テーマ] eラーニングからブレンディッドラーニングへ part4

[主催] 日本科学教育学会中国支部、岡山理科大学教育工学研究会

[後援] 教育システム情報学会中国支部

[日時] 平成24年12月15日(土) 13:00~15:40

[会場] 岡山理科大学 15号館 3階 21531教室

[プログラム]

12:00-13:00 受付

13:00-13:10 開会挨拶

13:10-13:40 初等中等教育における英語 TTS ソフトのブレンド型活用とその効果に関する一
検討

○藤代昇丈(岡山県立岡山東商業高等学校)、宮地 功(岡山理科大学)

13:40-14:10 遠隔地からの参加も可能な制御体験学習システム

○小松原実(岡山商科大学)

14:10-14:30 休憩

14:30-15:00 教職科目のブレンド型授業について2年間の用語認知度の比較

○宮地 功(岡山理科大学)、吉田幸二(湘南工科大学)

15:00-15:30 演習中心のブレンド型授業におけるクリッカーに対する学習者の意識

○宮地 功(岡山理科大学)

15:30-15:40 閉会挨拶

[連絡先] 〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町 1-1

宮地 功 (岡山理科大学) [miyaji\[at mark\]mis.ous.ac.jp](mailto:miyaji[at mark]mis.ous.ac.jp) Tel & Fax 086-256-9651

国際交流委員会だより

国際学会開催情報

(1) ISET2013 (The International Conference for Science Educators and Teachers)

2013年5月9-11日に、タイのパタヤにて、第1回「International Conference for Science Educators and Teachers (ISET 2013)」が開催される。テーマは、「Science Education in the Hi-speed World」である。発表要旨(英語で250 words)のメ切りは3月15日である。希望者は、フルペーパーを提出できる(引用文献を含め6-12ページでメ切りは4月5日である)。

大会ホームページ: <http://www.isetonline.net/home.htm>

(2) EdMedia2013 (World Conference on Educational Media and Technology)

2013年6月24日～28日に、EdMedia2013がカナダのブリティッシュコロンビア州ヴィクトリアで開催される。ICTを活用した様々な教育実践やシステム開発等の研究報告がなされ、日本からも参加者が多数いる。Best Practice から Full Paper まで多数の発表カテゴリがある。プロポーザルのメ切りは12月17日となっているが、例年 Second Call (追加募集) があることが多い。アクセプト通知後の原稿(1～10ページ;発表カテゴリによる)提出メ切りは、5月3日である。

大会ホームページ：<http://www.aace.org/conf/edmedia/>

編集委員会だより

平成24年度第1回編集理事会報告

平成24年9月29日(土)11時00分～12時45分、平成24年度第1回編集理事会がコクヨ品川オフィス1階106号室において開催された。

平成24年度第1回編集委員会(平成24年8月28日開催)議事録の確認と「科学教育研究」の編集状況の報告が行われた。新規投稿論文(2012.8.11～2012.9.18)が6編(和文6編、英文0編)、査読中論文25編(担当編集委員選定中5編、査読員選定中1編、第1回査読中4編、担当編集委員による総合判定中(1回目)1編、改訂稿待ち6編、第2回査読中7編、編集委員長による総合判定中(2回目)1編)、掲載決定論文3編(研究論文3編(36-4:4編)であった。

続いて、以下の通り報告と議論が行われた。

- (1) 第36、37巻各号の巻頭言と編集後記担当者について、銀島編集担当理事より報告の後、意見交換が行われた。
- (2) 第37巻第2号の特集(科学教師教育)について、銀島編集担当理事より編集状況の報告が行われた。意見交換の結果、9月30日の投稿締切日を1ヶ月延長して10月31日(水)までとし、学会HPやレター、学会MLで周知することになった。
- (3) 第38号特集のテーマと担当者について意見交換がなされ、テーマを「学習科学(Learning Sciences)」として、構成メンバーの検討を進めることになった。
- (4) 編集理事会で取り組むべき課題について、吉川編集委員長より説明があり、意見交換がなされた。

平成24年度第2回編集理事会報告

平成24年11月3日(土)11時00分～13時20分、平成24年度第2回編集理事会がコクヨ品川オフィス1階106号室において開催された。

平成24年度第1回編集理事会(平成24年9月29日開催)議事録の確認と「科学教育研究」の編集状況の報告が行われた。新規投稿論文(2012.9.19～2012.10.31)22編(和文21編、英文1編)、査読中論文43編(新規投稿受付中5編、担当編集委員選定中12編、査読員選定中0編、査読中(1回目)16編、担当編集委員による総合判定済(1回目)1編、改訂稿待ち1編、査読中(2回目)5編、担当編集委員による総合判定中(2回目)3編)、掲載決定論文3編(研究論文3編(通算合計37-1:3編))

であった。

続いて、以下の通り報告と議論が行われた。

- (1) 第 37 巻第 2 号の特集（科学教師教育）について、銀島編集担当理事より編集状況の報告が行われた。特集編集部会委員の追加依頼について検討され、承認された。
- (2) 第 38 号特集（学習科学（Learning Sciences））に関して、テーマ設定や部会委員の構成について意見交換がなされた。
- (3) 12 月に発刊予定の第 36 巻第 4 号の編集について、銀島編集担当理事より報告が行われ、意見交換がなされた。
- (4) 編集理事会で取り組むべき課題について、意見交換がなされた。

次回、平成 24 年度第 3 回編集理事会は、2013 年 3 月 16 日（土）、11 時 00 分から 13 時 00 分、場所はコクヨ品川オフィスを予定している。

科学教育研究」投稿状況および掲載決定状況

（平成24年10月31日 現在）

	新規投稿論文数 （編）		審査中（編）		掲載決定論文数 （掲載号）		招待論文数（掲載号）		掲載不可 論文数	
	和文	英文	和文	英文	和文	英文	和文	英文	掲載 不可	辞退
2011年 11月	8	0	28	3	1 (35-4) 0 (36-1)	0 (35-4) 0 (36-1)	0		2	0
12月	2	1	26	4	2 (36-1) 0 (36-2)	0 (36-1) 0 (36-2)	0		1	1
2012年 1月	6	0	26	4	4 (36-1) 0 (36-2)	0 (36-1) 0 (36-2)	0		1	1
2月	6	0	25	4	3 (36-1) 0 (36-2)	0 (36-1) 0 (36-2)	0		4	0
3月	14	0	30	4	4 (36-2) 0 (36-3)	0 (36-2) 0 (36-3)	0		5	0
4月	4	0	24	1	7 (36-2) 0 (36-3)	2 (36-2) 0 (36-3)	0		4	0
5月	7	1	25	2	0 (36-2) 2 (36-3)	0 (36-2) 0 (36-3)	0	2 (36-2)	4	0
6月	4	0	27	2	0 (36-3) 0 (36-4)	0 (36-3) 0 (36-4)	0		2	0
7月	4	0	26	2	4 (36-3) 0 (36-4)	0 (36-3) 0 (36-4)	0		1	0
8月	5	1	25	2	0 (36-3) 1 (36-4)	0 (36-3) 1 (36-4)	0		4	1
9月	9	0	25	1	0 (36-3) 2 (36-4)	0 (36-3) 0 (36-4)	0		8	0
10月	16	1	36	2	0 (36-4) 3 (37-1)	0 (36-4) 0 (37-1)	0		1	0

広報委員会からのお知らせ

科学教育研究レター第 210 号をお送りいたします。お気づきの点などございましたら、学会 Web サイトにある「お問い合わせ」(Web メール)をご利用のうえ、お知らせください。

担当理事：久保田善彦（上越教育大） 谷塚光典（信州大）
委員：縣 秀彦（国立天文台） 銀島 文（国立教育政策研究所）
稲垣成哲（神戸大） 東原貴志（上越教育大）
今村哲史（山形大） 高橋みどり（静岡北高）
幹事：内ノ倉真吾（静岡大） 小松孝太郎（信州大） 福井智紀（麻布大）

科学教育研究レター編集・印刷 日本科学教育学会広報委員会

日本科学教育学会

Japan Society for Science Education

URL : <http://www.jsse.jp>

□事務局 宮崎大学大学院教育学研究科 内

□事務支局（入退会・会費・学会誌発送関連） TEL : 075-415-3661 FAX : 075-415-3662
E-mail : [jsse\[at mark\]nacos.com](mailto:jsse[at mark]nacos.com)

中西印刷(株) 学会部 内 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

□編集事務局（論文投稿・査読編集） TEL : 075-415-3155 FAX : 075-417-2050
E-mail : [jsse-hen\[at mark\]nacos.com](mailto:jsse-hen[at mark]nacos.com)

中西印刷(株) 学会部 内 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

郵便振替口座 : 00170-6-85183 日本科学教育学会

銀行口座 : みずほ銀行 京都中央支店 普通 2269008 日本科学教育学会